

令和5年度 保育士自己評価

評価時期：令和6年 3月初旬

評価対象者：保育士（常勤、非常勤）

評価方法：	A … 90%以上	かなりできている
	B … 70～89%	ほぼできている
	C … 50～69%	あまりできていない
	D … 49%以下	努力を要する

Ⅰ. 保育について

- ① 園の理念を自分なりに説明することができますか？
- ② 保育目標を意識して子どもと関わっていますか？
- ③ 保育方針を理解し、方針に沿った保育をしていますか？
- ④ 一人ひとりの気持ちに寄り添い受容をしていますか？
- ⑤ 遊びを通した様々な経験を大切にしていますか？
- ⑥ 基本的な生活習慣の自立を支えていますか？
- ⑦ 自己と向き合う力が育めるような関わりができていますか？
- ⑧ 食や命を大切に、感謝する心が育むためにはどうすれば良いかを考えて保育をしていますか？
- ⑨ 常に「子どもにとってどうなのか？」を考えて行動していますか？
- ⑩ 発達の凸凹がある児へは、困りごとが何か？を視点に保育をしていますか？

A

A

A

A

A

A

A

A

A

A

## 2. 子どもの人権の尊重

① 日頃から子どもに身体的な苦痛を与える行為をしていませんか？

A

② 子どもの、できる、できないだけをフォーカスして評価をしていませんか？

A

③ 人格を否定するような言葉を掛けないようにしていますか？

A

④ ジェンダーを意識した性別役割分業意識を植え付けないよう配慮していますか？

A

⑤ 子どもの問いかけを無視するような行動はとっていませんか？

A

令和5年度は、子どもを主体とした保育を深めるために、さいたま市内の様々な保育園を見学しました。

園見学で学んだことを、全職員で共有して自園の保育に活かしていきました。更に学びを深めていく所存です。